

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日

上場会社名 株式会社フィックスターズ

上場取引所 東

(役職名) 代表取締役社長

表取締役社長 (氏名)三木聡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751

定時株主総会開催予定日 2024年12月18日 配当支払開始予定日 2024年12月19日

有価証券報告書提出予定日 2024年12月18日

決算補足説明資料作成の有無:有

代表者

決算説明会開催の有無:有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
2024年9月期	百万円 7.995	% 13. 6	百万円 2, 304	% 10. 4	百万円 2.305	% 11 0	百万円 1.494	% 3. 2
2023年9月期	7, 038	11.5	2, 086	28. 5	2, 076	22. 9	1, 447	33. 7

(注)包括利益 2024年9月期 1,498百万円 (△1.2%) 2023年9月期 1,516百万円 (21.8%)

		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
		円 銭	円 銭	%	%	%
202	24年9月期	46. 39	_	24. 2	27. 3	28. 8
202	23年9月期	45. 01	_	28. 8	25. 4	29. 6

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 -百万円 2023年9月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	8, 729	6, 943	77. 1	208. 81
2023年9月期	8, 182	5, 825	68. 9	175. 32

(参考) 自己資本 2024年9月期 6,727百万円 2023年9月期 5,641百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	ノノユ ノロ の状ル			
	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	1, 656	△167	△1, 240	4, 856
2023年9月期	719	△27	△1, 124	4. 629

2. 配当の状況

2. 此当切水ル								
			年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	率(連結)
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	_	0.00	_	13. 00	13. 00	418	28. 9	8.3
2024年9月期	_	0.00	_	19.00	19.00	612	41.0	9.9
2025年9月期(予想)	_	0.00	_	18. 00	18. 00		30. 5	

- (注) 1. 2024年9月期 期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 5円00銭
 - 2. 2024年9月期における1株当たり期末配当金については、14円から19円に変更しております。詳細については、 本日(2024年11月7日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	il益	経常利益		親会社株芸		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4, 400	12. 6	1, 200	1.8	1, 200	1.9	1, 000	31. 2	31. 04
通期	9, 300	16. 3	2, 600	12.8	2, 600	12.8	1, 900	27. 2	58. 98

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更:有

新規 1社 (社名) 株式会社Fixstars Investment、除外 1社 (社名) Sider, Inc.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無

 ② ①以外の会計方針の変更
 :無

 ③ 会計上の見積りの変更
 :無

 ④ 修正再表示
 :無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数 ③ 期中平均株式数

2024年9月期	33, 635, 000株	2023年9月期	33, 635, 000株
2024年9月期	1, 419, 301株	2023年9月期	1, 457, 480株
2024年9月期	32, 204, 952株	2023年9月期	32, 167, 690株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上高営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	6, 765	10. 9	2, 017	1. 1	1, 994	△6.8	1, 388	△12.4
2023年9月期	6, 102	14. 6	1, 995	29. 6	2, 140	29. 5	1, 584	65. 4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円銭	円銭
2024年9月期	43. 11	_
2023年9月期	49. 27	_

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	7, 403	5, 856	79. 1	181. 79
2023年9月期	7, 181	4, 861	67. 7	151.09

(参考) 自己資本 20

2024年9月期

5.856百万円

2023年9月期

4.861百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料 P. 4 「1. 経営成績等の概況(3)次期の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	2
(3)次期の見通し	4
(4)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書	
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	1.1
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) ····································	- 11
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	1
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、一部に足踏みが見られるものの緩やかに回復しております。一方で、欧米における高い金利水準の継続、中国経済の先行き懸念、中東の不安定な情勢等による世界経済の下振れが国内景気の下振れリスクとして存在し、不透明な状況も続いております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピューティングクラウド「Fixstars Amplify」、乳がんAI画像診断支援プログラム「METIS Eye」、LLM (大規模言語モデル) の開発プロセス高速化基盤「Fixstars K4」等の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc. が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は7,995,406千円(前連結会計年度比13.6%増)、営業利益2,304,095千円(前連結会計年度比10.4%増)、経常利益2,305,635千円(前連結会計年度比11.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,494,133千円(前連結会計年度比3.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。LifeScienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は7,680,311千円(前連結会計年度比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)は2,457,700千円(前連結会計年度比10.6%増)となりました。

②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は315,095千円(前連結会計年度比66.2%増)、セグメント損失(営業損失)は151,101千円(前連結会計年度はセグメント損失(営業損失)135,251千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて547,095千円増加し、8,729,668千円となりました。これは現金及び預金が227,367千円増加、営業投資有価証券が282,559千円増加したこと等が主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて570,920千円減少し、1,786,561千円となりました。これは、借入金の返済等に伴い長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が804,329千円減少したこと、未払法人税等が227,056千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,118,015千円増加し、6,943,107千円となりました。これは、利益剰余金が1,075,826千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ227,367 千円増加し、当連結会計年度末には、4,856,480千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得た資金は1,656,074千円(前連結会計年度比130.2%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益(2,289,873千円)、営業投資有価証券の取得(\triangle 282,559千円)、法人税等の支払額(\triangle 572,376千円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は167,222千円(前連結会計年度比497.4%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(△165,238千円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は1,240,826千円(前連結会計年度比10.4%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出(\triangle 804,329千円)、配当金の支払額(\triangle 418,465千円)等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率(%)	42. 1	47. 8	54. 1	68. 9	77. 1
時価ベースの自己資本比率 (%)	466. 5	359. 7	433. 5	481.4	615. 3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	4. 5	3. 4	1.4	1.8	0.3
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	154. 4	106. 3	250. 7	193. 3	712. 3

自己資本比率:自己資本/総資本

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 - 2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。
 - 3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。
 - 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております
 - 5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(3) 次期の見通し

2025年9月期においては、Solution事業、SaaS事業ともに持続的な成長を見込んでおり、増収増益となる見通しであります。連結業績につきましては、売上高9,300百万円(前連結会計年度比16.3%増)、営業利益2,600百万円(前連結会計年度比12.8%増)、経常利益2,600百万円(前連結会計年度比12.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,900百万円(前連結会計年度比27.2%増)を見込んでおります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益の還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、将来に向けての事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、配当性向を勘案し、業績に応じた積極的かつ弾力的な利益配当を行っていくことを基本方針としております。

具体的な配当金額は、キャッシュ・フローの状況等を基準に決定いたしますが、中期的な連結配当性向30%を目標としております。

2024年9月期の配当は、普通配当14円に上場10周年記念配当5円を加え、期末配当19円(年間配当19円)を予定しており、これにより連結配当性向は41.0%となる見込みです。

また、2025年9月期の配当は、期末配当18円(年間配当18円)、連結配当性向は30.5%を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1)連結貸借対照表

(1) 建和具恒对照衣		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 629, 112	4, 856, 480
売掛金	2, 374, 675	2, 256, 651
契約資産	186, 728	258, 420
営業投資有価証券	_	282, 559
棚卸資産	5, 368	30, 347
その他	116, 161	88, 352
流動資産合計	7, 312, 047	7, 772, 812
固定資産		
有形固定資産		
建物	392, 671	451, 191
減価償却累計額	△204, 604	$\triangle 292,450$
建物(純額)	188, 066	158, 740
工具、器具及び備品	240, 037	380, 935
減価償却累計額	△174, 125	$\triangle 227,244$
工具、器具及び備品(純額)	65, 912	153, 690
機械装置及び運搬具		12, 570
減価償却累計額	_	$\triangle 1,627$
機械装置及び運搬具(純額)		10, 942
有形固定資産合計	253, 979	323, 373
無形固定資産		,
その他	2, 467	3, 424
無形固定資産合計	2, 467	3, 424
投資その他の資産		-,
投資有価証券	116, 125	83, 592
繰延税金資産	136, 980	208, 041
敷金及び保証金	335, 972	318, 423
その他	25, 000	20,000
投資その他の資産合計	614, 078	630, 057
固定資産合計	870, 525	956, 855
資産合計	8, 182, 573	8, 729, 668

	267474 V 31 Fr Fr	(単位:千円)
	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	134, 732	114, 469
1年内返済予定の長期借入金	804, 329	493, 01
リース債務	-	21, 719
未払法人税等	301, 344	528, 40
契約負債	38, 578	78, 133
賞与引当金	129, 339	163, 96
その他	456, 140	354, 44
流動負債合計	1, 864, 463	1, 754, 14
固定負債		
長期借入金	493, 018	_
リース債務	_	32, 41
固定負債合計	493, 018	32, 41
負債合計	2, 357, 481	1, 786, 56
純資産の部		
株主資本		
資本金	554, 468	554, 46
資本剰余金	558, 545	573, 23
利益剰余金	5, 663, 216	6, 739, 04
自己株式	$\triangle 1, 332, 493$	$\triangle 1, 297, 59$
株主資本合計	5, 443, 736	6, 569, 15
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51, 813	26, 76
為替換算調整勘定	145, 700	131, 08
その他の包括利益累計額合計	197, 513	157, 85
非支配株主持分	183, 841	216, 09
純資産合計	5, 825, 092	6, 943, 10
負債純資産合計	8, 182, 573	8, 729, 66

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

(連結損益計算書)		
		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7, 038, 276	7, 995, 406
売上原価	3, 463, 387	3, 817, 380
売上総利益	3, 574, 888	4, 178, 026
販売費及び一般管理費	1, 488, 531	1, 873, 930
営業利益	2, 086, 357	2, 304, 095
営業外収益		
受取利息	344	220
未払配当金除斥益	672	441
為替差益	_	3, 965
その他	104	637
営業外収益合計	1, 121	5, 264
営業外費用		
支払利息	3, 872	2, 421
為替差損	5, 756	_
投資事業組合運用損	1, 264	1, 303
その他		0
営業外費用合計	10, 930	3, 725
経常利益	2, 076, 548	2, 305, 635
特別利益		
投資有価証券売却益	19, 550	_
特別利益合計	19, 550	_
特別損失		
子会社清算損	_	15, 761
減損損失	1,421	_
特別損失合計	1,421	15, 761
税金等調整前当期純利益	2, 094, 678	2, 289, 873
法人税、住民税及び事業税	602, 135	811,661
法人税等調整額	29, 746	△60, 107
法人税等合計	631, 882	751, 553
当期純利益	1, 462, 795	1, 538, 320
非支配株主に帰属する当期純利益	14, 917	44, 186
親会社株主に帰属する当期純利益	1, 447, 878	1, 494, 133

(連結包括利益計算書)

(連結包括利益計算書)		
		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	1, 462, 795	1, 538, 320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51, 813	△25, 046
為替換算調整勘定	2, 199	△14, 612
その他の包括利益合計	54, 012	△39, 658
包括利益	1, 516, 808	1, 498, 662
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1, 501, 891	1, 454, 475
非支配株主に係る包括利益	14, 917	44, 186

(3)連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				その他	の包括利益	累計額			
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合 計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	554, 468	543, 917	4, 536, 767	△1, 364, 035	4, 271, 117	_	143, 501	143, 501	169, 481	4, 584, 101
当期変動額										
連結子会社の増資に よる持分の増減		4, 011			4, 011					4, 011
剰余金の配当			△321, 430		△321, 430					△321, 430
親会社株主に帰属する当期純利益			1, 447, 878		1, 447, 878					1, 447, 878
自己株式の処分		10, 617		31, 541	42, 159					42, 159
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						51, 813	2, 199	54, 012	14, 359	68, 372
当期変動額合計		14, 628	1, 126, 448	31, 541	1, 172, 618	51, 813	2, 199	54, 012	14, 359	1, 240, 990
当期末残高	554, 468	558, 545	5, 663, 216	△1, 332, 493	5, 443, 736	51, 813	145, 700	197, 513	183, 841	5, 825, 092

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(中)世.						1 1 2 1 1 47				
	株主資本			その他の包括利益累計額						
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調整勘定	その他の 包括利益 累計額合 計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	554, 468	558, 545	5, 663, 216	△1, 332, 493	5, 443, 736	51, 813	145, 700	197, 513	183, 841	5, 825, 092
当期変動額										
連結子会社株式の取得による持分の増減		△311			△311					△311
剰余金の配当			△418, 307		△418, 307					△418, 307
親会社株主に帰属する当期純利益			1, 494, 133		1, 494, 133					1, 494, 133
自己株式の取得				△24	△24					△24
自己株式の処分		15, 003		34, 924	49, 927					49, 927
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△25, 046	△14, 612	△39, 658	32, 256	△7, 401
当期変動額合計		14, 691	1, 075, 826	34, 899	1, 125, 417	△25, 046	△14, 612	△39, 658	32, 256	1, 118, 015
当期末残高	554, 468	573, 237	6, 739, 042	△1, 297, 594	6, 569, 153	26, 767	131, 088	157, 855	216, 098	6, 943, 107

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		<u>í</u>)	単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計 (自 2023年1 至 2024年5	0月1日
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	2, 094, 678		2, 289, 873
減価償却費	136, 422		146, 139
減損損失	1, 421		_
賞与引当金の増減額(△は減少)	△120, 121		36, 210
投資有価証券売却損益(△は益)	\triangle 19, 550		_
受取利息及び受取配当金	△344		$\triangle 220$
支払利息	3, 872		2, 421
為替差損益(△は益)	△6, 641		$\triangle 4,786$
投資事業組合運用損益(△は益)	1, 264		1, 303
子会社清算損益(△は益)	_		15, 761
売上債権の増減額(△は増加)	$\triangle 357, 479$		111, 807
棚卸資産の増減額(△は増加)	2, 360		$\triangle 24,978$
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	_		$\triangle 282,559$
仕入債務の増減額(△は減少)	△41, 200		△20, 138
未払金の増減額(△は減少)	$\triangle 27,729$		$\triangle 14,476$
その他	△142, 035		$\triangle 26,301$
小計	1, 524, 916		2, 230, 055
利息及び配当金の受取額	1, 017		220
利息の支払額	$\triangle 3,722$		$\triangle 2,324$
法人税等の支払額	△802, 760		$\triangle 572,376$
その他			500
営業活動によるキャッシュ・フロー	719, 450		1, 656, 074
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△37, 545		$\triangle 165, 238$
投資有価証券の売却による収入	20, 250		_
敷金及び保証金の回収による収入	_		984
敷金及び保証金の差入による支出	△8, 902		$\triangle 1,001$
その他	△1, 794		△1,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27, 991		$\triangle 167, 222$
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△787, 663		△804, 329
リース債務の返済による支出	△19, 316		$\triangle 5,765$
非支配株主からの払込みによる収入	10, 000		_
自己株式の取得による支出	_		$\triangle 24$
配当金の支払額	△320, 596		$\triangle 418, 465$
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得に よる支出	_		△4, 987
非支配株主への配当金の支払額	△ 6, 545		$\triangle 7,254$
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1, 124, 121		△1, 240, 826
現金及び現金同等物に係る換算差額	5, 159		△20, 657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△427, 503		227, 367
現金及び現金同等物の期首残高	5, 056, 616		4, 629, 112
現金及び現金同等物の期末残高	4, 629, 112		4, 856, 480
20 m2/2 0 20 m2/14 /1 /2 /2 /2/17/2/14/	1, 020, 112		1, 000, 100

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

- 1. 連結の範囲に関する事項
 - (1) 連結子会社の数 8社

連結子会社の名称 Fixstars Solutions, Inc.

株式会社Fixstars Autonomous Technologies

株式会社Sider

株式会社Smart Opinion

オスカーテクノロジー株式会社

株式会社Fixstars Amplify

株式会社Drone Autopilot Lab

株式会社Fixstars Investment

株式会社Fixstars Investmentは、当連結会計年度において新たに設立したため連結の範囲に含めております。

なお、前連結会計年度において連結子会社でありましたSider、Inc. は清算したため、連結の範囲から除いております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

全ての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

- 4. 会計方針に関する事項
 - (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法
 - イ 有価証券
 - a 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

b その他有価証券(営業投資有価証券を含む)

市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

なお、投資事業有限責任組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

- 口 棚卸資産
 - a 商品·製品·原材料

移動平均法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

b 仕掛品

個別法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産(リース資産を除く)

a 当社及び国内子会社

建物及び建物附属設備

定額法

その他の有形固定資産

①2007年3月31日以前に取得したもの・・・・・旧定率法

②2007年4月1日以降に取得したもの・・・・・定率法

b 海外子会社

定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 5年

工具、器具及び備品 $2\sim10$ 年

機械装置及び運搬具 9年

ロ 無形固定資産 (リース資産を除く)

市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売金額を基準として販売金額に応じた割合に基づく償却額と販売可能期間(3年)に基づく定額償却額のいずれか多い金額をもって償却しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権など特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当連結会計年度における計上額はありません。

口 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、賞与支給見込額の当連結会計年度負担額を計上しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

イ Solution事業

Solution事業においては、主に受注制作のソフトウェア開発及び関連するハードウェアの販売を行っております。

受注制作のソフトウェア開発に関しては、一定の期間にわたり充足される履行義務については履行義務の 充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識しております。進捗度の見 積りの方法は、工事原価総額に占める発生原価の割合によるインプット法にて算出しております。なお、契 約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれるまでの期間がごく短い場合には、完全に 履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

ハードウェア販売に関しては、顧客が商品を検収した時点で収益を認識しております。なお、当社グループが代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額を収益として認識しております。

ロ SaaS事業

SaaS事業においては、主に当社グループが開発したSaaS製品の提供及びその初期設定・導入支援・カスタマイズ等のサービスを提供しております。

各製品の利用料に関しては、契約期間にわたり履行義務が充足されると判断し、その期間にわたり収益を認識しております。また、製品の初期設定・導入支援・カスタマイズ等のサービスに関しては、Solution事業における受注制作のソフトウェア開発と同様に収益を認識しております。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費

用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めております。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社グループは、事業活動の特徴を考慮した経営管理上の区分により、「Solution事業」と「SaaS事業」の2つを報告セグメントとしております。

「Solution事業」は、リアルタイム画像処理、大規模シミュレーション、ビッグデータ分析やストレージ関連のソフトウェア開発・高速化サービス及び関連するハードウェアの提供を行っております。

「SaaS事業」は、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、乳がんAI画像診断支援プログラム「METIS Eye」、LLM (大規模言語モデル) の開発プロセス高速化基盤「Fixstars K4」など、これまで培ってきた知見を基に複数のサービスをSaaSとして開発・提供しております。

- 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に おける記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。
- 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の 分解情報

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

		報告セグメント		調整額	合計	
	Solution事業	SaaS事業		 视		
売上高						
一時点で移転される財	6, 067, 354	85, 431	6, 152, 786	_	6, 152, 786	
一定の期間にわたり移転され る財	781, 287	104, 202	885, 489	_	885, 489	
顧客との契約から生じる収益	6, 848, 642	189, 633	7, 038, 276	_	7, 038, 276	
その他の収益	_	_	_	_	_	
外部顧客への売上高	6, 848, 642	189, 633	7, 038, 276	_	7, 038, 276	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43, 541	143, 777	187, 319	△187, 319	_	
計	6, 892, 183	333, 411	7, 225, 595	△187, 319	7, 038, 276	
セグメント利益又は損失 (△) (注)	2, 221, 608	△135, 251	2, 086, 357	_	2, 086, 357	
その他の項目						
減価償却費	116, 721	19, 701	136, 422	_	136, 422	

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - 3. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。
 - 4. Solution事業のソフトウェア開発・高速化サービスに関して、一時点で認識された売上高は5,798,032千円、一定の期間にわたり認識された売上高は699,101千円であります。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	幹	み告セグメン	١	201h	合計	∃田 車ケ 安石	連結財務諸
	Solution 事業	SaaS事業	計	その他	百亩	調整額	表計上額
売上高							
一時点で移転される財	6, 441, 607	88, 562	6, 530, 170	_	6, 530, 170	_	6, 530, 170
一定の期間にわたり移転され る財	1, 238, 703	226, 532	1, 465, 236	_	1, 465, 236	_	1, 465, 236
顧客との契約から生じる収益	7, 680, 311	315, 095	7, 995, 406	_	7, 995, 406	_	7, 995, 406
その他の収益	_	_	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	7, 680, 311	315, 095	7, 995, 406	_	7, 995, 406	_	7, 995, 406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20, 340	172, 424	192, 764	_	192, 764	△192, 764	ı
計	7, 700, 651	487, 519	8, 188, 171	_	8, 188, 171	△192, 764	7, 995, 406
セグメント利益又は損失 (△) (注)	2, 457, 700	△151, 101	2, 306, 598	△2, 502	2, 304, 095	_	2, 304, 095
その他の項目							
減価償却費	122, 460	23, 678	146, 139	_	146, 139	_	146, 139

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CVC事業を含んでおります。
 - 2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - 4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。
 - 5. Solution事業のソフトウェア開発・高速化サービスに関して、一時点で認識された売上高は6,287,910千円、 一定の期間にわたり認識された売上高は1,030,788千円であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

- 1. 製品及びサービスごとの情報 報告セグメントと同一のため記載を省略しております。
- 2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
キオクシア㈱	1, 904, 443	Solution事業
ルネサスエレクトロニクス㈱	1, 549, 000	Solution事業
㈱ネクスティエレクトロニス	727, 454	Solution事業

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

- 1. 製品及びサービスごとの情報 報告セグメントと同一のため記載を省略しております。
- 2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
キオクシア㈱	1, 613, 107	Solution事業
ルネサスエレクトロニクス㈱	1, 275, 461	Solution事業
㈱ネクスティエレクトロニクス	807, 497	Solution事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) 重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) 該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】 該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	175. 32円	208.81円
1株当たり当期純利益	45. 01円	46. 39円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。
 - 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1, 447, 878	1, 494, 133
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益(千円)	1, 447, 878	1, 494, 133
普通株式の期中平均株式数 (株)	32, 167, 690	32, 204, 952
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式で、前連結会計年度末から重要な変動があ ったものの概要	(連結子会社) 株式会社Fixstars Amplify 第1回新株予約権 新株予約権の数 350個 (普通株式数 350株) 株式会社Smart Opinion 第1回新株予約権 新株予約権の数 192個 (普通株式数 192株)	_

(重要な後発事象)

該当事項はありません。